

## 第4学年 国語科学習指導案

時間・場所 2校時 4年1組教室

学 級 4年1組27名(男子13名,女子14名)

指 導 者 工 藤 政 子

- 1 単元名 心に残ったことを感想文に書こう  
学習材名 プラタナスの木(光村図書 4年下)

### 2 単元について

児童はこれまでに、文学的文章を通して、登場人物の行動や会話に着目しながら人柄や気持ちを読むこと、題名や特別な言葉を意識しながら読むこと、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の気持ちの変化を想像して読む学習をしてきた。その中で登場人物の気持ちや物語の情景について自分の感想をもち、一人一人の感じ方の違いに気付くことができるようになってきている。しかし、自分の考えの基になった叙述や自分の体験と結び付けて登場人物の気持ちを深く考えたり、感想を書いてまとめたりする力は十分とは言えない。

中心学習材「プラタナスの木」は、マーチンを中心とする四人組が、いつもの遊び場であるプラタナス公園で、おじいさんとの出会いやプラタナスの木がなくなってしまう出来事を通して、自然に対する思いや考え方が変化するという内容である。登場人物が児童と同じ4年生であることから、登場人物の会話や行動に共感しながら読み、おじいさんの話やプラタナスの木の存在、登場人物の行動などに対して様々な感想をもつことができる作品である。

本単元では、物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いに気付く力を身に付けるために、感想文を書き交流する言語活動を位置づける。指導に当たって、第一次では、自分の体験と比べて書いた感想文を提示し、自分に引き寄せて読むことの面白さに気付かせるとともに感想文を書くという意欲を高める。そして第二次では、感想の根拠となる叙述を見付けたり自分の体験と比べたりしながら読む活動を行い、友達に説明したり共通点や相違点を見付けたりしながら交流を通して心に強く残ったことをまとめていく。その感想を基に、第三次では中心や組み立てを確かめて感想文に書き表し、その感想文を交流することによって、一人一人の感じ方のよさや違いに気付かせていきたい。

### 3 単元の目標

○自分と比べながら物語を読んだり、強く心に残ったことや考えたことを進んで交流したりしようとする。

【国語への関心・意欲・態度】

◎読んで考えたことを交流し合い、感じ方の違いに気付くことができる。

【読むこと オ】

○情景を表す言葉や表現を見付けることができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ア)】

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○自分と比べながら物語を読んだり、強く心に残ったことや考えたことを進んで交流したりしようとしている。	◎登場人物の気持ちの変化や情景を、叙述を基に想像したり自分の体験と比べたりしながら読み、感想を交流して一人一人の感じ方の違いに気付いている。	○情景を表す言葉や表現を見付けている。

### 5 学習計画(全9時間)

第一次 単元の学習について、学習計画を立て、課題意識と見通しをもつ。(2時間)

第二次 「プラタナスの木」を登場人物の気持ちの変化や情景などについて、叙述を基にしたたり自分の体験と比べたりしながら読む。(4時間)本時4/4

第三次 心に残ったことを感想文にまとめて交流し、単元の学習を振り返る。(3時間)

6 本時の指導（6/9）

ねらい 心に強く残ったことや感じたことを，叙述を基にしたり自分と比べたりしながらまとめることができる。

(1) 展開

学 習 活 動	学 習 内 容	指導のための工夫 □評価〈方法〉
<p>㊦ 1 前時までを振り返る。</p> <p>㊦ 2 学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="193 551 767 607" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心に強く残ったことをまとめよう。</div> <p>3 課題を解決するための見通しをもつ。</p> <p>㊦ 4 感想の根拠となることを明確にする。</p> <p>㊦ 5 感想と根拠を交流する。</p> <p>(1) 同じ観点で感想を書いたグループでの交流。</p> <p>①「おじいさんの話」についての感想のグループ</p> <p>②「マーちゃんたちの心の変化」についての感想のグループ</p> <p>③「プラタナスの木」についての感想のグループ</p> <p>(2) 学級全体での交流</p> <p>6 再度，学習材と向き合い，自分の考えを整理し，加筆・修正する。</p> <p>7 本時の学習をまとめる。</p> <div data-bbox="153 1731 767 1850" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">理由を表す文章を引用したり，自分の体験と比べたりすると，感想がはっきりしてくる。</div>	<p>○心に残ったことを書くための観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共感できる登場人物の行動</li> <li>・心に残った登場人物の言葉</li> <li>・登場人物の気持ちの変化</li> </ul> <p>○交流の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠が似ているか，違うか。</li> <li>・友達の体験への共感</li> <li>・自分の感想に取り入れたいこと</li> </ul>	<p>□前時までの学習が振り返られるように，壁面に学習したことを掲示しておく。（視覚化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに心に残ったことを一文で書き表したものを，本時では，根拠となる叙述を明確にしたり自分の体験と比べたりして，より確かな感想にまとめる学習であり，それが感想文の中心になることを全員で確かめる。</li> <li>・本文にサイドラインを引いたり，書き込みをしたりしながら，根拠を明確にできるようにする。</li> <li>・グループの交流では，感想の根拠を友達に説明したり，質問に答えたり，似ていることや違うことを見付けたりしながら，自分の感想を深めることができるようにする。</li> <li>・グループ交流を基に，全体の交流ではさらに感想を深めたり，交流したよさを確かめたりできるようにする。</li> </ul> <div data-bbox="847 1406 1401 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>□心に強く残ったことや感じたことを，叙述や体験を基にして，まとめている。 〈ノート・発言〉</p> </div> <p>□黒板の板書をもとに，本時の学習を確かめ，振り返りにつなげる。（共有化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で学んだことや学習のよさを振り返ることによって，学習を価値付けるとともに，心に強く思ったことを感想文にする次時の学習への意欲を高める。</li> </ul>
<p>㊦ 8 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と交流することのよさ</li> <li>・自分の学びのよさ・高まり</li> </ul>	